

CHleru

チエル株式会社

(銘柄コード 3933)

2020年3月期
決算説明資料

2020年6月

Chapter **01** 会社概要 . . . P.03

Chapter **02** 2020年3月期 業績報告 . . . P. 06

Chapter **03** 2021年3月期 業績予想 . . . P.16

Chapter **04** 2021年3月期 施策 . . . P.23

参考資料 . . . P.29

Chapter **01**

会社概要

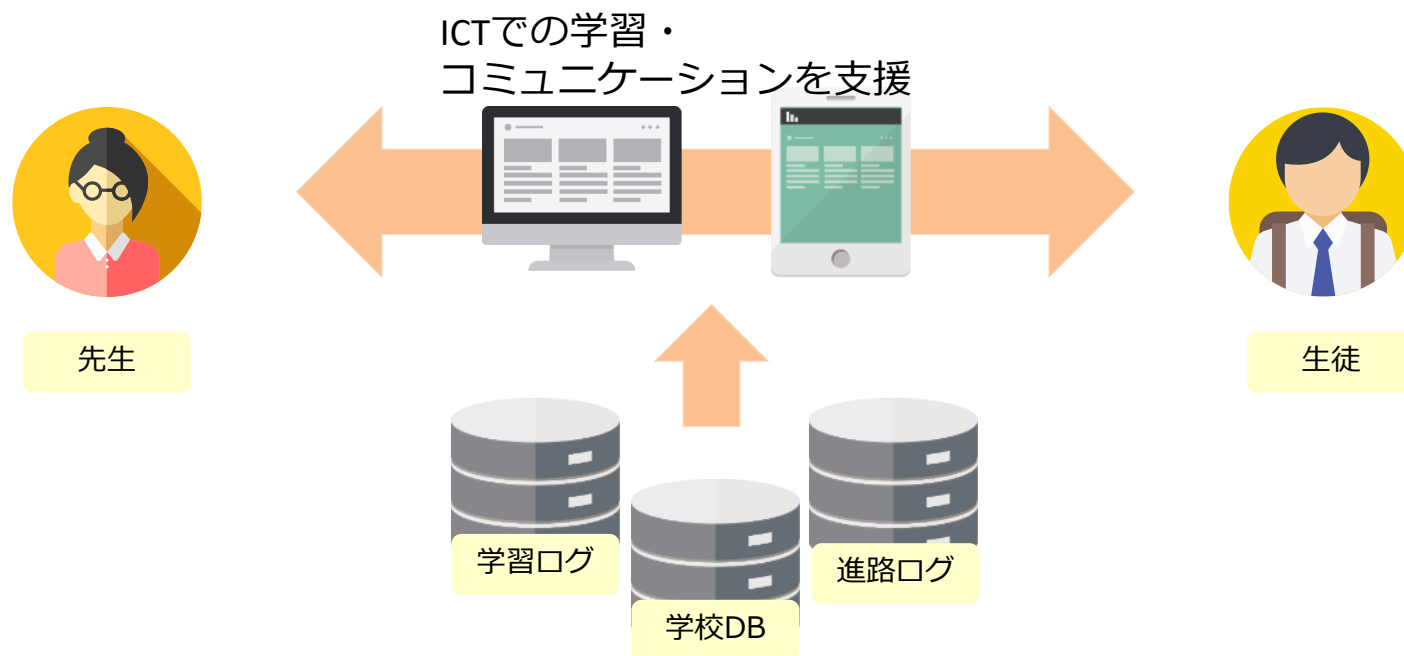
会社名	チエル株式会社
代表者	川居 睦
住所	東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
設立	1997年10月1日
資本金	3.32億円
従業員	連結：163名（他臨時37名）、単体：44名（他臨時23名）（2020年3月末時点）
拠点	営業拠点：8営業所（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・広島・福岡・沖縄） 子会社：沖縄チエル株式会社、株式会社コラボレーションシステム、 株式会社昭栄広報 、 MATOMeru株式会社* 、株式会社VERSION2 関連会社：株式会社ダイヤ書房、ワンビ株式会社、SHIELDEX株式会社
事業内容	教育ICT事業 <ul style="list-style-type: none"> 教育用ソフトウェア、ネットワークおよびシステムの企画・研究開発、コンサルティング、操作要員・技術要員等の指導者育成 情報通信サービス及び情報提供サービスに関する業務 情報処理機器、電気通信機械器具、事務用機械の製造及び販売 教材、教育機器、文房具の企画、開発及び販売 図書、書籍、雑誌の企画、制作、出版及び販売 労働者派遣業務

*2020年6月、株式会社東大英数理教室より社名変更予定

経営理念

私たちチエルは、
子供たちの未来のために世界中の先生の授業をICTで支えます。

■イメージ図



Chapter **02**

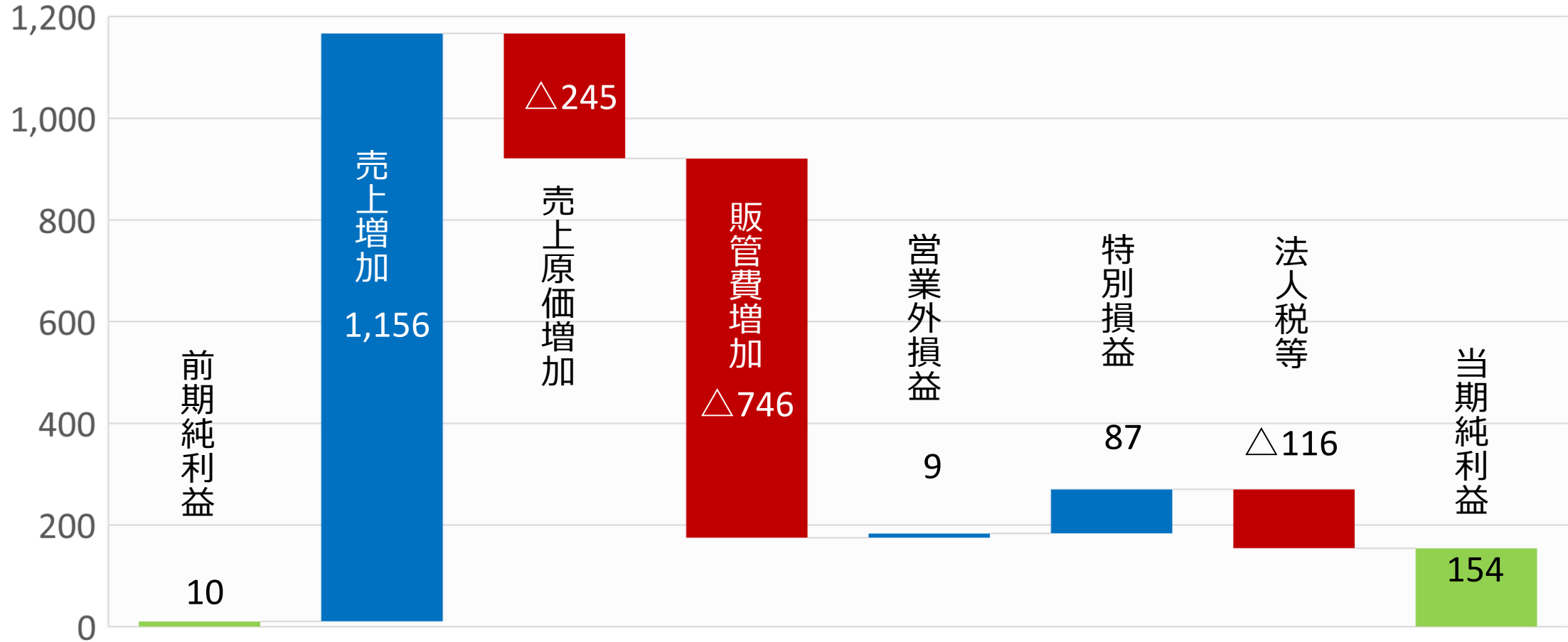
2020年3月期 業績報告

- 売上は、前年同期比+56.9%の3,186百万円（過去最高額）
- 営業利益は、同+212.9%の241百万円（過去最高益）
- 経常利益は、同+283.6%の234百万円
- 当期純利益は、同+1,440%の154百万円

(百万円)	2019年 3月期（連結）	2020年3月期 （連結）		前年 同期比	前回 予想比
	前年同期	前回予想	実績		
売上高	2,030	2,900	3,186	+1,156	+286
営業利益	77	210	241	+164	+31
経常利益	61	230	234	+172	+4
純利益	10	150	154	+143	+4

- 子会社の増加等により売上、原価及び販管費が増加
- 前期にソフトウェア減損処理を行ったことも当期の利益改善要因

純利益の前年同期比増減要因（百万円）



- 新設の進路部門のみならず、各部門で収益は前年比増
- 学習部門の利益は微減ながら、情報基盤部門は大幅な増益

(百万円)		2019年3月期 (連結)	2020年3月期 (連結)	増減率
		前年同期	実績	
学習部門	売上高	1,153	1,178	+2.2%
	セグメント利益	324	323	△0.0%
進路部門	売上高	—	893	—
	セグメント利益	—	11	—
情報基盤 部門	売上高	877	1,115	+27.2%
	セグメント利益	246	400	+62.4%

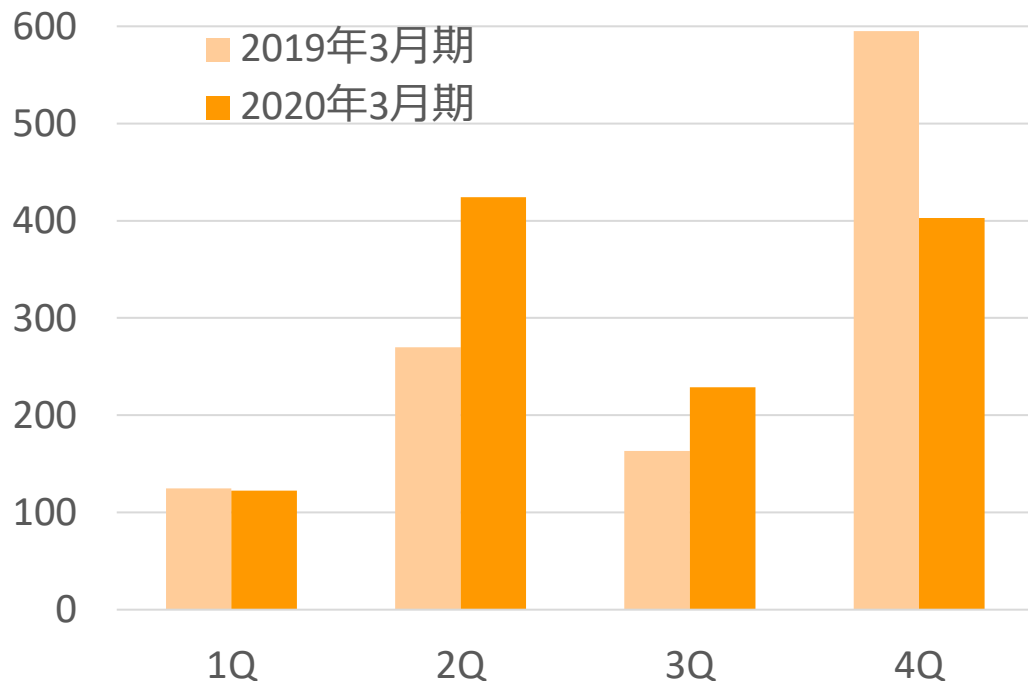
※上記表に調整額（セグメントに配分していない全社費用）は含まれていない

- 学習部門は、大学向け製品群の売上が増加
- 入札の前倒し傾向により、4Qは前年比マイナス
- ハードウェア製品や仕入製品の売上比率が上がり、利益は微減

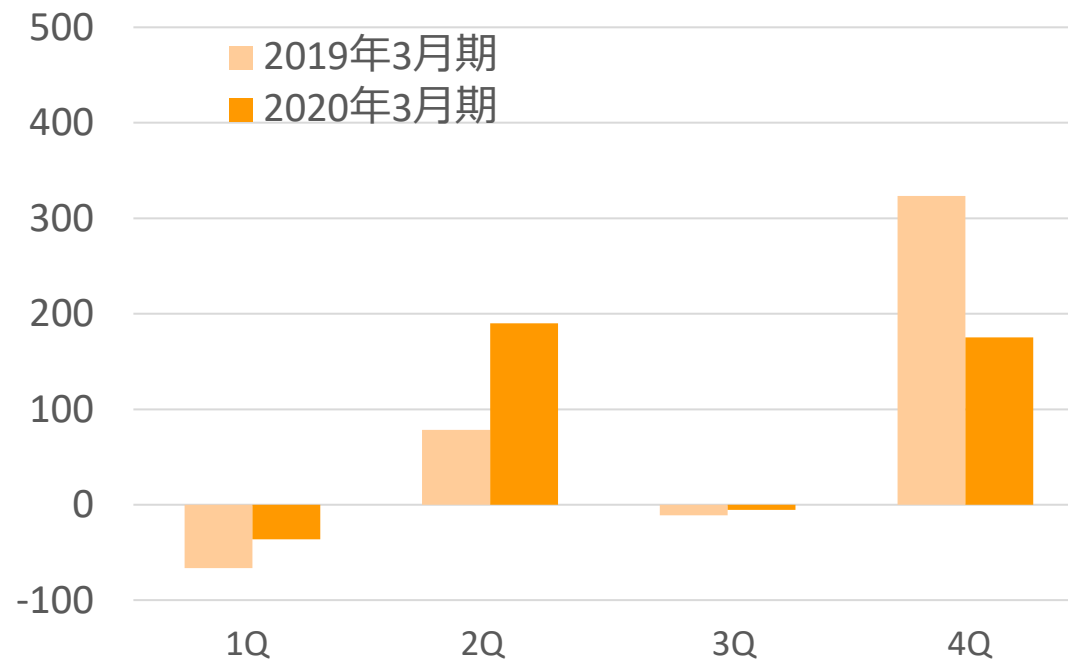
学習部門

四半期ごとの推移（百万円）

売上高



セグメント利益



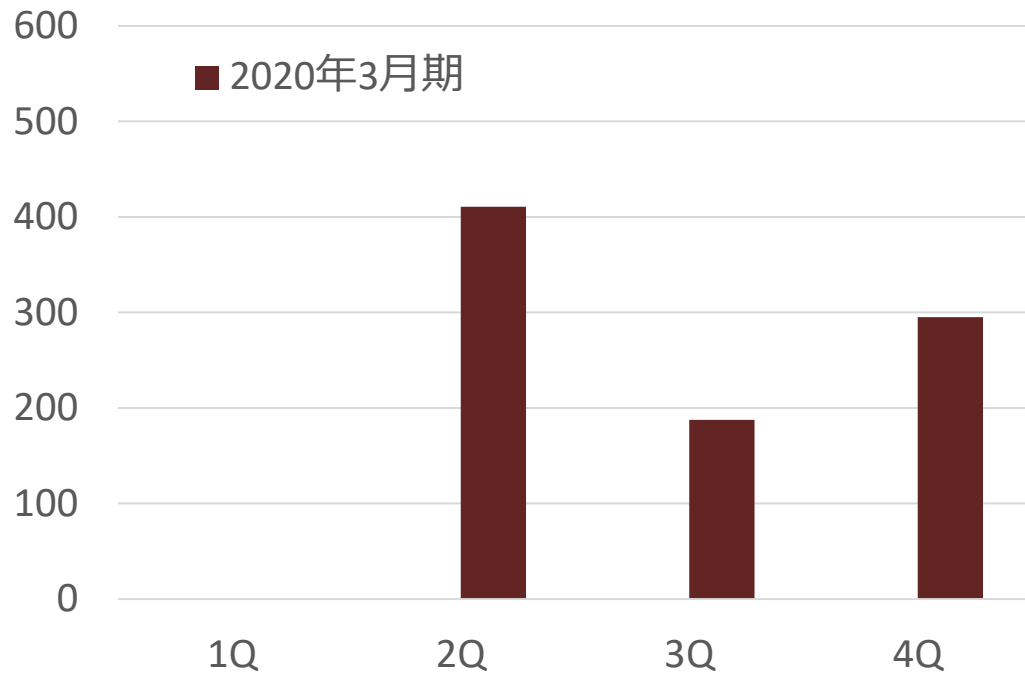
- 進路部門は、2019年6月にM&Aをした株式会社昭栄広報の業績*
- 今期は3Q分の実績を取り込んでおり、通年での寄与は来期から

*エーアンドシー社は2020年1月に昭栄広報に吸収合併

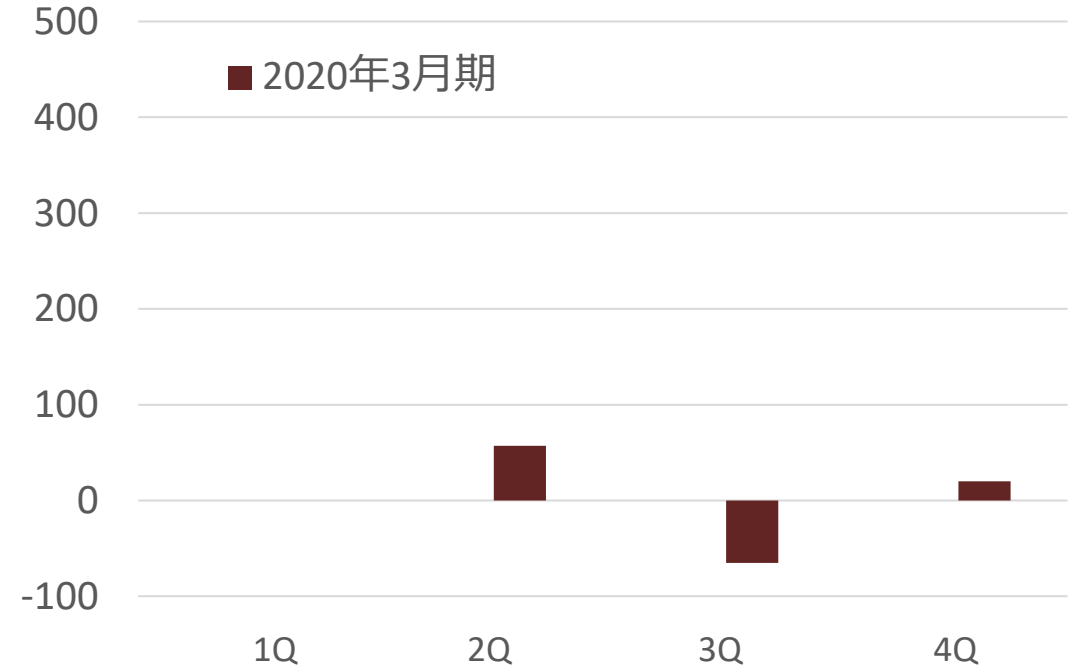
進路部門

四半期ごとの推移（百万円）

売上高



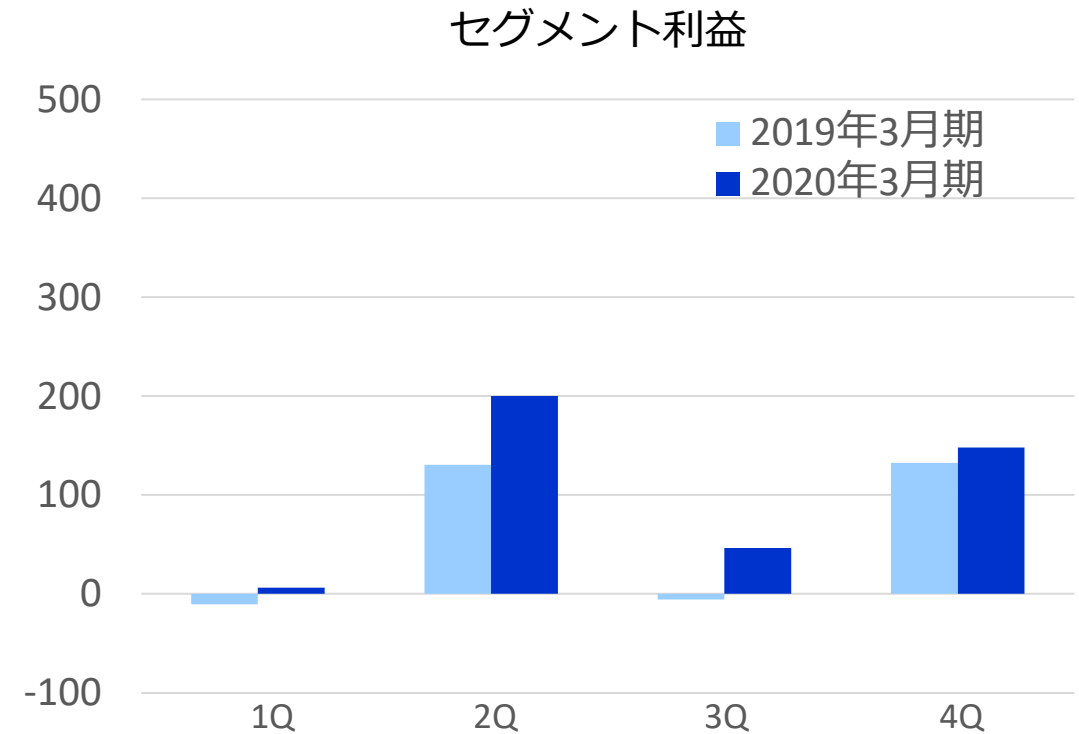
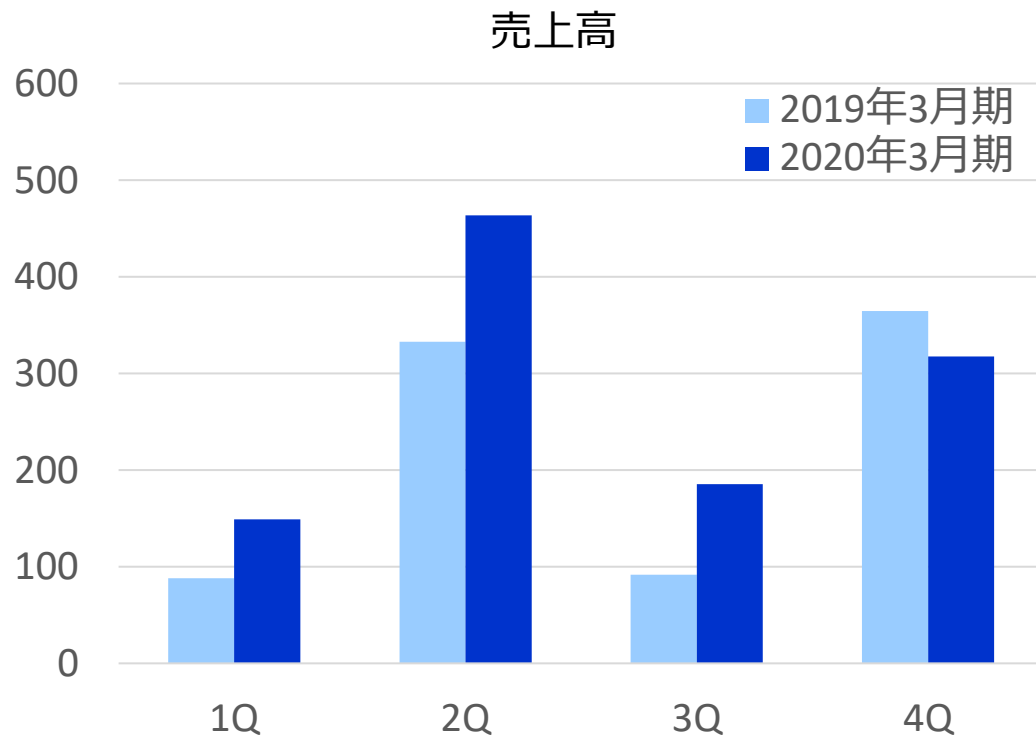
セグメント利益



- フィルタリングソフトや学内ICT運用管理ソリューション等の製品で売上増
- 新製品の仮想化アプライアンスも売上に貢献
- 自社開発製品の売上比率が上がったことで、利益率上昇

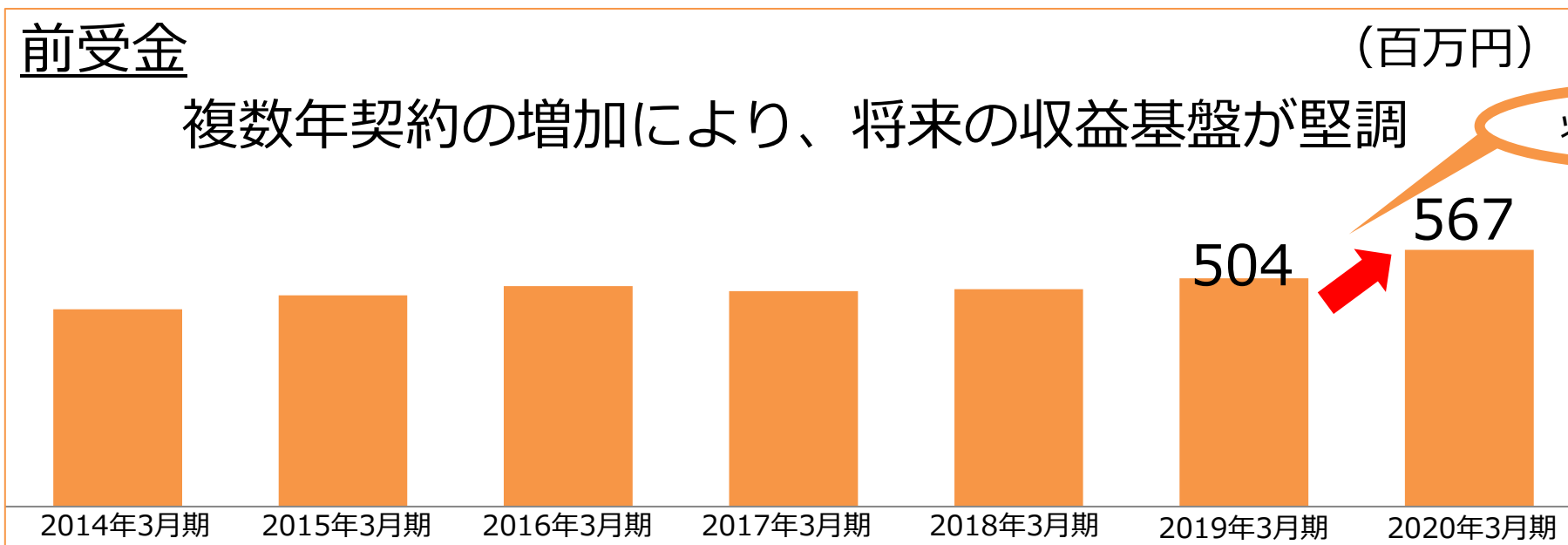
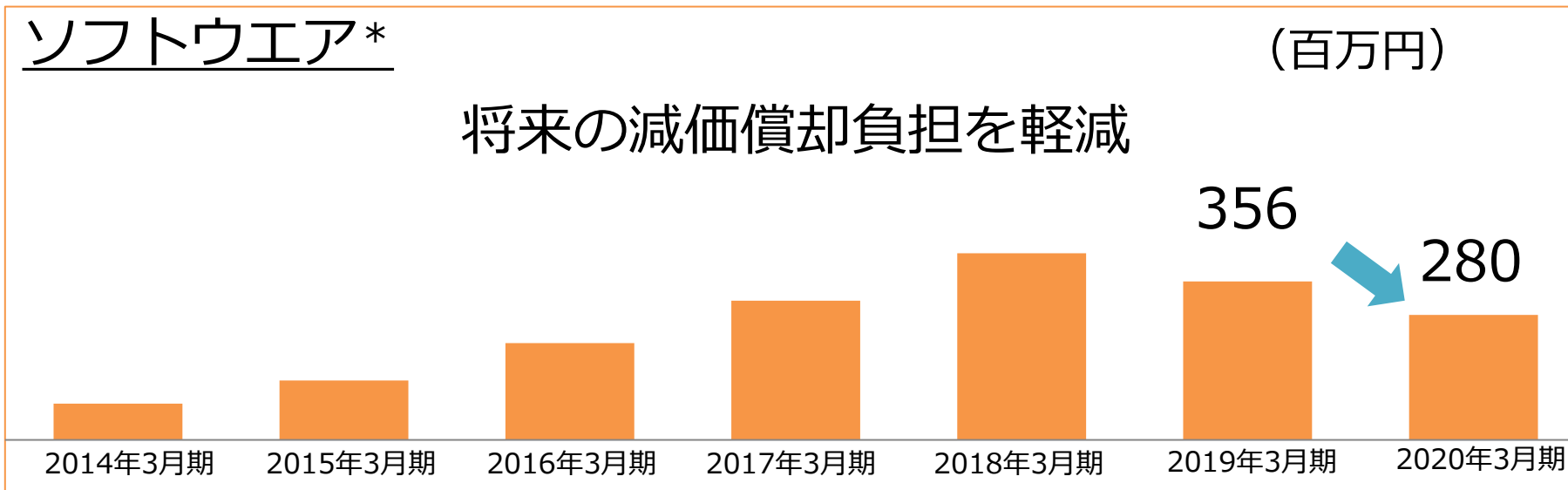
情報基盤部門

四半期ごとの推移（百万円）



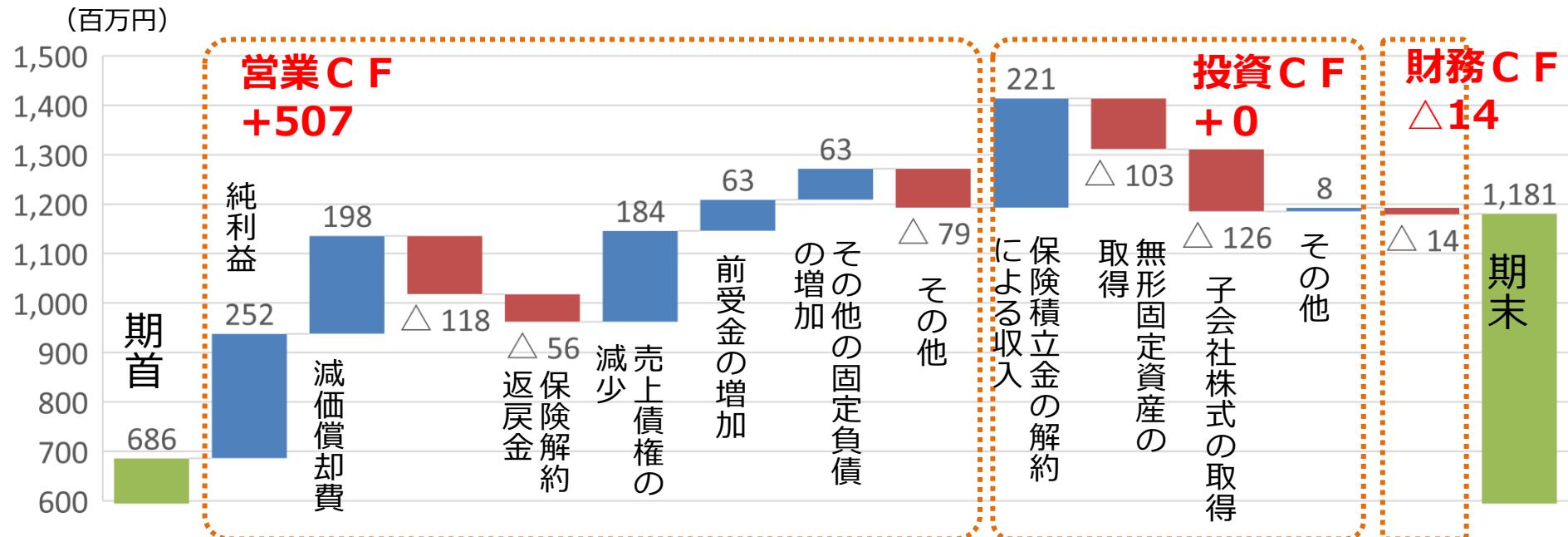
- ・ <資産> ・ 総資産は622百万円増加（子会社増による）
 ・ 無形固定資産が99百万円減少
- ・ <負債> ・ 退職給付負債257百万円増加（子会社分）
- ・ <純資産> ・ 利益剰余金148百万円増加

(百万円)	2019年3月期 (連結)	構成比	2020年3月期 (連結)	構成比	増減額
流動資産	1,504	62.5%	2,097	69.2%	+ 593
固定資産 (無形固定資産)	903 (531)	37.5% (22.1%)	933 (432)	30.8% (14.2%)	+ 29 △ 99
資産合計	2,408	100.0%	3,031	100.0%	+ 622
流動負債	834	34.6%	997	32.9%	+ 163
固定負債	94	3.9%	401	13.2%	+ 307
負債合計	928	38.6%	1,399	46.1%	+ 636
純資産	1,479	61.4%	1,632	53.8%	+ 152
負債純資産合計	2,408	100.0%	3,031	100.0%	+ 622



* ソフトウェア勘定及びソフトウェア仮勘定の合計を表示しています

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	427	686	+259
営業活動によるCF	380	507	+127
投資活動によるCF	△9	0	+10
財務活動によるCF	△111	△14	+97
現金及び現金同等物の期末残高	686	1,181	+494



Chapter **03**

2021年3月期 業績予想

- GIGAスクール構想及び新型コロナウイルス感染症の影響により、外部環境は大きく変化

GIGAスクール構想の影響

新型コロナウイルス感染症の影響

学習部門

- Chromebook™対応製品を中心に引き合いが増加

- 学習管理システム『Glexa』の引き合いが増加

進路部門

- 特に影響なし

- 高校やイベント会場での進路相談会開催不可
- オンラインでの進路相談会を新規に開催

情報基盤部門

- 無線LAN整備関連製品の引き合い増加

- 新たなクラウドサービス利用に伴い、ID統合のニーズ拡大

- 令和元年度補正予算から開始された全国一律の小中学校ICT環境整備事業

【事業概要：GIGAスクール構想の実現】

- (1) 校内通信ネットワークの整備
 - 希望する全て小・中・特支・高等学校等における**校内LANを整備**
加えて、小・中・特支等に**電源キャビネットを整備**
 - 補助割合1/2（公立の場合）
- (2) 児童生徒1人1台端末の整備
 - 国公立の小・中・特支等の**児童生徒が使用するPC端末を整備**
 - 補助割合 定額上限4.5万円（公立の場合）

出所：文部科学省 GIGAスクール構想の実現について
https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm



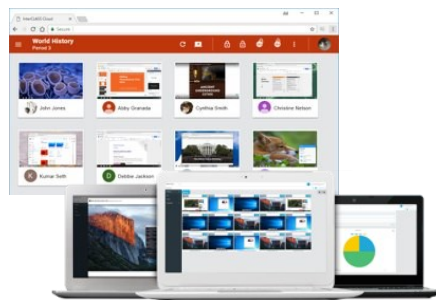
「1人1台端末」について整備を前倒し

(1) ネットワーク整備 (2) 1人1台端末の整備 という順で整備が進んでいる状況

- 学習部門と情報基盤部門では、GIGAスクール構想に対応する製品の引き合いが増加

学習部門

- 小中学校の「1人1台」整備方針の下、起動が早く安価なChromebook™の普及が見込まれる
- Chromebook™の運用管理や協働学習、安全な活用を強力に支援する製品群の引き合いが増加



『 InterCLASS® Cloud 』



Chromebook™に完全対応
『 Chromebook 活用パック 』

情報基盤部門

- GIGAスクール構想において、校内LAN環境は高速化・無線化*される見通し
- 混雑した環境でも無線LAN通信が安定化する製品の引き合い増加



無線LAN最適化ソリューション

ディーブリッジ®
Tbridge®



無線LAN最適化ソリューション
『 Tbridge® 』

*基幹ケーブルは10G以上対応規格、全教室使うことを想定して無線AP設置
(出所：文部科学省 G I G Aスクール構想の実現 標準仕様書)

- 学習部門や情報基盤部門では、一部製品の引き合いが増加
- 進路部門では、進路相談会に関連する売上が減少

学習部門

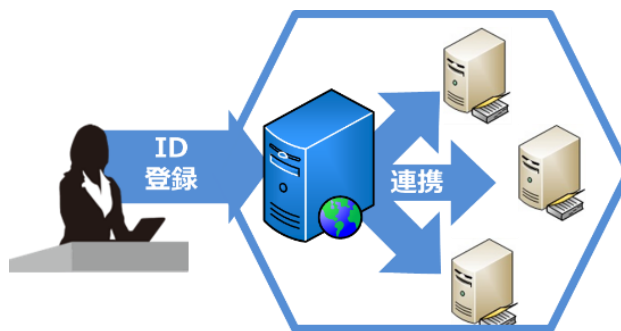
- オンライン授業とともに、自宅でも課題提出等が可能となるeラーニングシステムの需要が拡大
- グループ会社が保有するeラーニングシステムの引き合い増加



マルチデバイス対応のeラーニングシステム
『Glexa』

情報基盤部門

- クラウドサービスを新たに始めるもしくは追加する大学が増加
- ID統合管理ツールの提案に注力



『ExtraConsole®』
IDの一元管理ツール

進路部門

- 臨時休校や外出自粛要請等によって高校やイベント会場での相談会中止
- Web進路ガイダンス（相談会）を実施する等、新たな相談会の形を模索

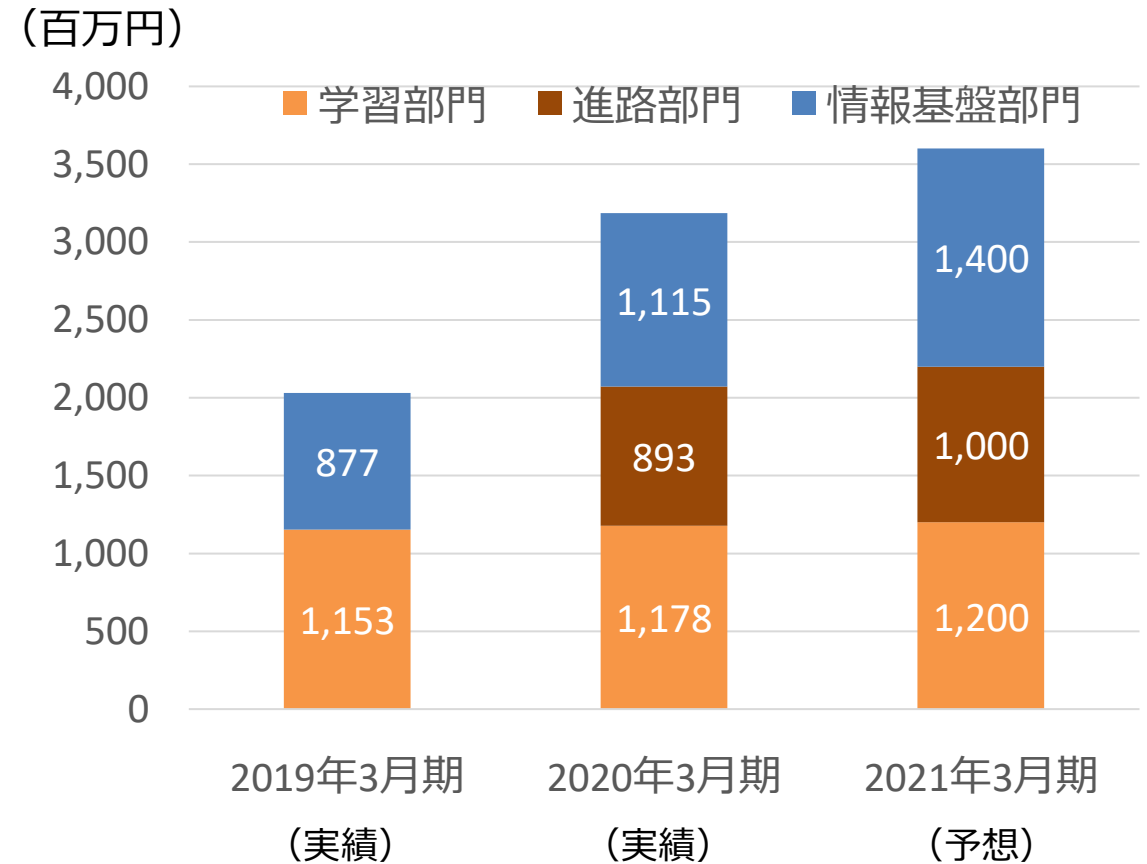


- GIGAスクール構想や新型コロナウイルス感染症などの影響も一定程度織り込んだ上で、2021年3月期は、
売上高は前年同期比414百万円増の3,600百万円
当期純利益は同46百万円増の200百万円を見込む

(百万円)	2020年3月期 (連結)	2021年3月期 (連結)	前年同期比	前年同期比
売上高	3,186	3,600	+413	+13.0%
営業利益	241	300	+58	+21.2%
経常利益	234	300	+65	+26.0%
純利益	154	200	+45	+29.9%

- 学習部門で受注増が見込まれるChromebook活用パック等は、利用期間に応じて売上が複数年にわたって計上されるため、来期以降で業績貢献見通し
- 進路部門はコロナウイルス感染症の影響で当初計画より減収見込
- 情報基盤部門は受注増が見込まれる製品が一括で計上見通しのため大幅に売上拡大を見込む

(百万円)	2020年 3月期	2021年 3月期	増減率
	実績	予想	
学習部門	1,178	1,200	+ 1.9%
進路部門	893	1,000	+ 12.0%
情報基盤部門	1,115	1,400	+ 25.5%

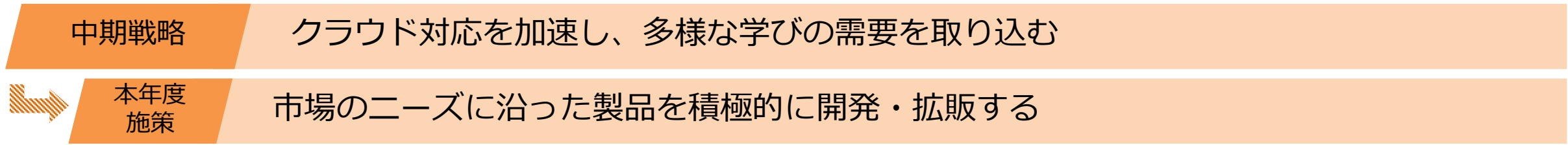


Chapter **04**

2021年3月期 施策

中期経営計画2年目は

- ①外部環境に沿った対応
- ②新たな形の情報発信・拡販推進

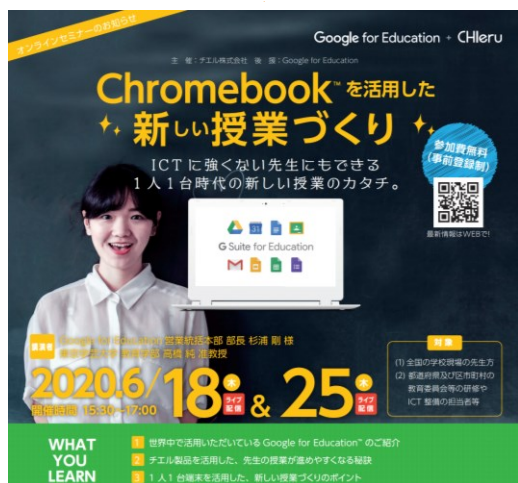


小学校・中学校

- セミナーやウェビナーを定期的を実施し、各自治体で選定が進む「1人1台端末」に対し、Chromebook™対応製品の拡販を継続的に推進

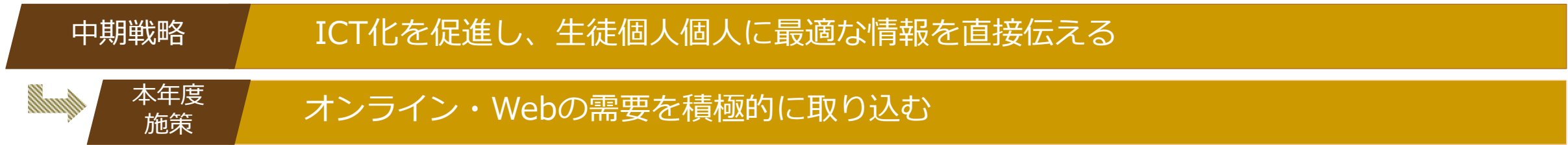
高校・専門学校・大学

- VERSION2と昭栄広報が連携し、eラーニングシステムのニーズが高まる大学・専門学校にGlexaの拡販を推進



Google for Education後援 Chromebook関連セミナーを実施





高校・専門学校・大学

<オンライン企画充実>

- Web進路ガイダンス開催を活発化
- 株式会社CLEAR*との連携により集客の間口を広げる

<旺文社 高大コネクト**>

- 高校会員数が順調に推移
- 大学からの成約もあり、広告収益として育成

<出版物発行の効率化>

- イベント開催が難しい中、出版物も有効な媒体
- ノウハウをグループの1社に集約し媒体力を高める



* アルクテラス株式会社が2020年4月1日付けで社名変更



**高校進学担当者と大学を入試情報でつなぐサービス



中期戦略 セキュリティポリシーに沿った安全で快適な学習環境を構築する

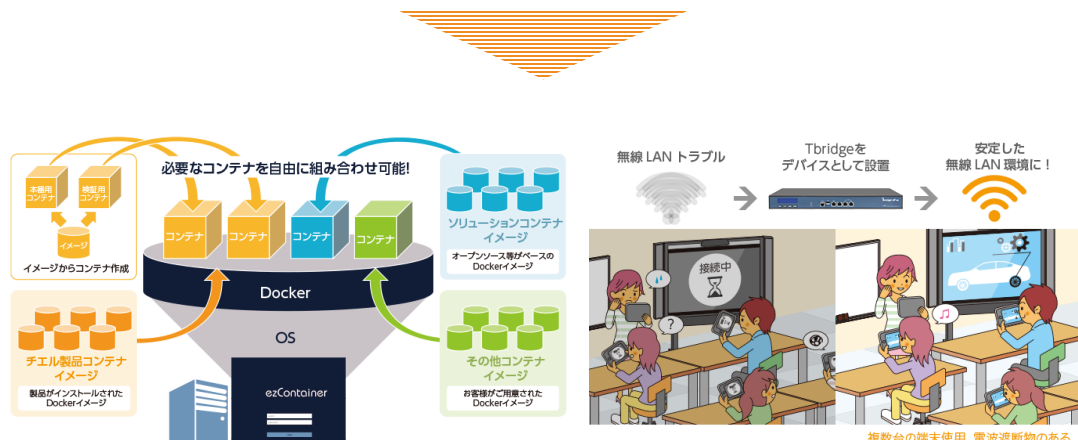
本年度施策 外部環境の変化を捉え、ニーズの高まった製品に注力する

小学校・中学校

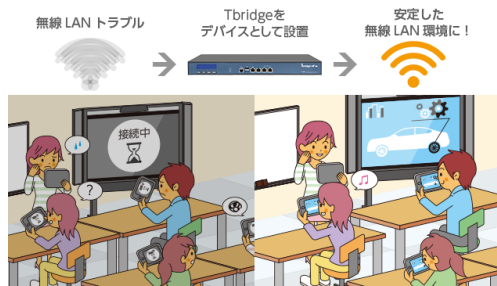
- GIGAスクール構想においてネットワーク整備が進む中で、Tbridge®の他、コンテナ型仮想化プラットフォームの拡販も併せて実施

高校・専門学校・大学

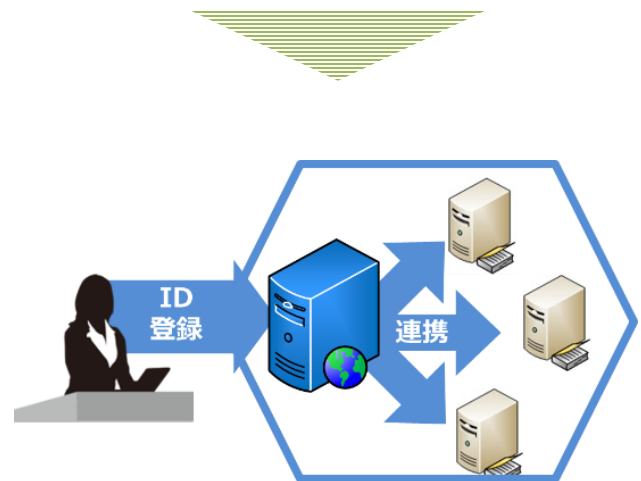
- クラウドサービスを新たに始める大学ではID統合管理などのニーズが増加しているため、運用管理ソリューションの提案に注力



コンテナ型仮想化プラットフォーム 『ezContainer』



無線LAN最適化ソリューション 『Tbridge®』

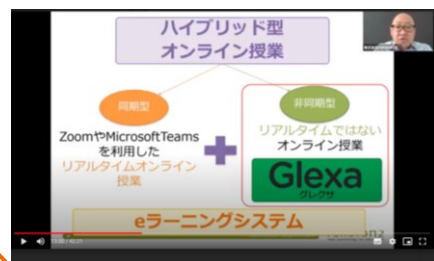


『ExtraConsole®』 IDの一元管理ツール

定期的にウェビナーを開催

- ・社内に収録スタジオを設置
- ・ショールームと併用しリアル/オンライン双方でセミナーを企画・開催

大学・専門学校を対象としたウェビナーは満員御礼



個人向けサービス『チエルダイレクト』

- ・学校向けサービスである『Chieru.net』で配信してきたeラーニング教材を個人向けに配信開始
- ・徐々に配信教材数を拡大見込み

CHleru Direct 教材一覧 サポート [会員登録](#) [ログイン](#)

TOPページ > 教材一覧



e-typing Challenge

— クラウド型 タイピングサービス —
イータイピング チャレンジ

初心者から熟練者まで対応。
今だからこそ求められるタイピングを、いつでもどこでも練習できます。

[詳細を見る](#) >

ABLish

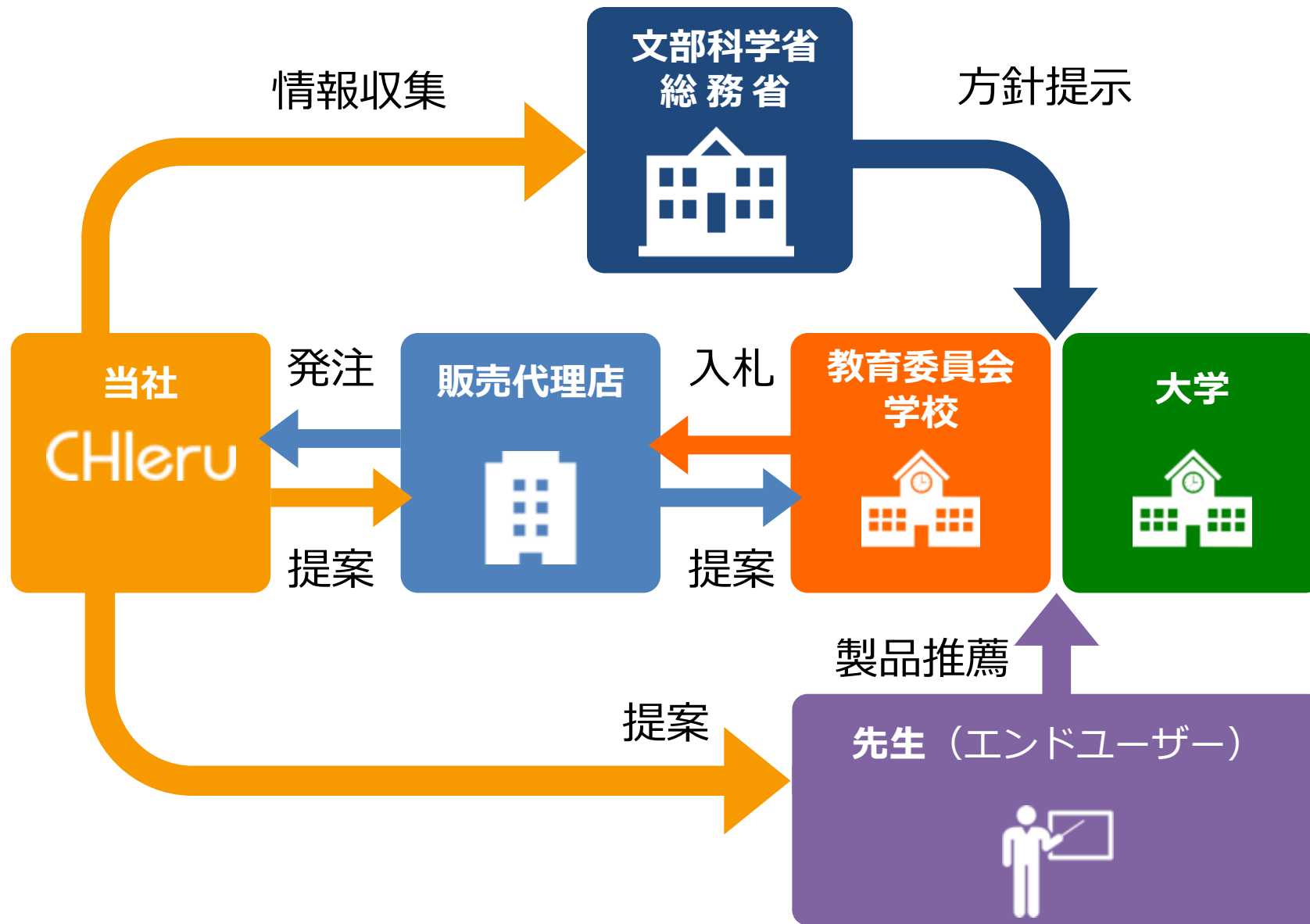


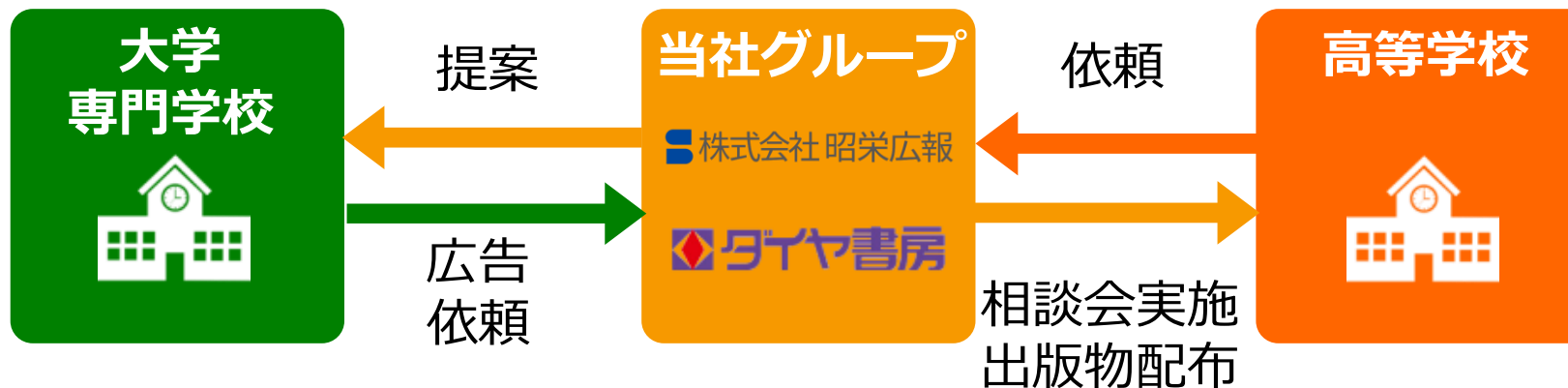
參考資料

1997年の創業より一貫して学校教育ICT市場に特化。
上場後は、「教育ICT市場」に拡大し成長。



1997年10月	株式会社旺文社の100%子会社として株式会社デジタルインスティテュート設立
2004年4月	学校向けに特化したクラウド型教材配信サービス『CHieru.net』の提供を開始
2006年10月	アルプスシステムインテグレーション株式会社の教育事業部門を統合・社名を チエル株式会社 に変更
2008年2月	高校・大学教育向けのフルデジタルCALLシステム『CaLabo EX Ver.5.0』販売開始
2014年4月	小学校・中学校教育向けタブレット対応教務支援システム『らくらく先生スイート』販売開始
2016年3月	東京証券取引所ジャスダックに株式を上場
2016年7月	100%子会社として沖縄チエル株式会社を設立
2017年3月	株式会社東大英数理教室を子会社化（持株比率100%）
2017年4月	株式会社VERSION2を子会社化（持株比率100%）
	株式会社ダイヤ書房と資本・業務提携（持株比率20%）
2017年9月	合併会社 SHIELDDEX株式会社を設立（持株比率39%）
	株式会社コラボレーションシステムを子会社化（持株比率100%）
2017年11月	ワンビ株式会社を持分法適用関連会社化（持株比率48%）
2019年6月	株式会社昭栄広報、株式会社エーアンドシーを子会社化（持株比率100%）
2020年1月	株式会社エーアンドシーを株式会社昭栄広報に吸収合併





①進学相談会の実施



学校またはイベント会場で
年間**1,000件**を超える相談会を開催。

②出版物の設置・配布



全国**3,000校**に
学習情報誌を設置・配布

区分	学校数（校）		児童生徒・学生数（人）		教員数（人）	
	2019	2018	2019	2018	2019	2018
小学校	19,738	19,892	6,368,545	6,427,867	421,936	420,659
中学校	10,222	10,270	3,218,115	3,251,670	246,835	247,229
義務教育学校	94	82	40,747	34,559	3,519	3,015
高等学校	4,887	4,897	3,168,626	3,235,661	231,342	232,802
中等教育学校	54	53	32,153	32,325	2,642	2,629
大学	786	782	2,918,708	2,909,159	187,876	187,163
短期大学	326	331	113,008	119,035	7,440	7,660
高等専門学校	57	57	57,121	57,467	4,169	4,224
専修学校	3,138	3,160	659,739	653,132	41,104	41,246

出所：文部科学省「学校基本調査」 各年度5月1日現在

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- Google for Education、G Suite for Education、Chromebookは Google LLC の商標です。その他、記載されている会社名および商品名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

CHleru

チエル 株式会社

本資料ならびにIR関係の
お問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

チエル株式会社

社長室

TEL:03-6712-9721

FAX:03-6712-9461

<https://www.chieru.co.jp/>